

『技術者倫理教育の裾野拡大 ～地域連携と若手技術者教育～』講演内容概要

(a)	演題 1	金沢工業大学における科学技術者倫理教育と今後の課題
(b)	氏名	増淵隆史（ますぶち たかし）
(c)	所属 および役職	金沢工業大学 基礎教育部 修学基礎教育課程 准教授
(d)	講演内容の 概要	金沢工業大学では 3 年次学生必修の講義として「科学技術者倫理」を開講している。本講義の目的は、実践的な問題解決能力の涵養にあり、グループワークによる事例分析を中心とした講義内容となっている。この講義を活用し、本学は倫理的に行動する技術者の育成に貢献してきた。しかし近年の科学技術の進歩や、社会状況および若者の倫理意識の変化などにより、講義内容の改善が課題となっている。そのような課題の例としては、AI を中心とした新たな情報技術に伴う倫理問題への対応や、ELSI に代表される倫理問題発見能力の向上、そして倫理の重要性に関する意識の醸成などがあり、これらの課題に対応すべく、現在カリキュラムの見直しを行っている。
(e)	キーワード	実践的問題解決能力、新技術に伴う倫理的問題、倫理的問題発見能力

(a)	演題 2	技術者教育と生成 AI の活用をめぐる古くて新しい問題
(b)	氏名	立花 達也（たちばな たつや）
(c)	所属 および役職	金沢工業大学 基礎教育部 修学基礎教育課程 講師
(d)	講演内容の 概要	法律が最低限のルールを定めるものとすれば、倫理綱領とは、法だけでは定めきれない領域において専門家が自律的に判断し、行動するための指針を与えるものである。AI 技術、とりわけ生成 AI の普及は業務の効率化を進める一方で、若手技術者が試行錯誤や指導を通じて専門的判断力を身につける機会を減少させる可能性がある。短期的な効率化と長期的な人材育成のあいだに生じるこの緊張は古くから知られる問題でありつつ、AI によるさらなる加速が予想される。これは法制度や組織内ルールだけで直ちに解決できる問題ではない。本講演では、この問題を専門職倫理の課題として捉え直し、AI 時代における若手育成と技能継承の意義を考える。
(e)	キーワード	AI による労働の変容、専門職倫理、専門能力形成